

「全国港湾知事協議会総会」開催



8月29日に全国港湾知事協議会総会が東京全日空ホテルで開催されました。総会には協議会会員40都道府県の代表が参加し、副会長藤田広島県知事の主催者挨拶の後、来賓の国土交通省吉田大臣政務官、顧問で港湾議員連盟会長古賀誠衆議院議員のご挨拶を頂きました。

議事の中で「港湾の整備・振興に関する決議(案)について」では、我が国の国際競争力の強化と個性ある地域の発展を通じ、安全で豊かなくらしを実現していくため、政府等関係機関に対し、必要な公共・非公共予算の確保に向け、支援・協力を要望することがあげられ、谷本石川県知事、西川福井県知事及び川上佐賀県副知事より賛成の意見表明の後、本総会の総意として満場一致の拍手で採決し、決議書は藤田副会長より吉田大臣政務官に手渡されました。

「北東アジア運輸市場に関するフォーラム」開催

8月14日からの2日間、韓国交通研究院とハワイ東西センターが共催する国際フォーラムが札幌の北海道大学学術交流センターにおいて開催されました。本フォーラムは、「2006年北東アジア運輸市場の統合に向けて」と題して行われ、米国、韓国、中国、ロシア及び日本の関係者約50人が参加しました。開催にあたっては、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所及び(社)寒地港湾技術研究センターの協力を得て、当協会港湾政策研究所が開催を支援しました。

会議は、①物流統計の標準化と北東アジア地域データベースの構築、②マルチモーダル輸送の進展による北東アジア物流市場の統合、及び③韓半島縦貫輸送ネットワークによる北東アジア輸送市場統合の3分科会の構成で行われ、各分科会において熱心な提案及び討議の後、総合討議が行

われました。なお、第3分科会では、日本開催の招聘者である北海道大学公共政策大学院 栢原英郎特任教授(当協会会長)が座長を務めました。

わが国からは、運輸政策研究所 金研究員が物流データベースに関して、また国土交通省 古市港湾計画審査官がマルチモーダル輸送戦略に関してそれぞれ発表報告したほか、運輸政策研究所 森地所長及び環日本海経済研究所 三橋特別研究員が、コメンテータとして海外からの発表にコメントしました。また、北海道開発局 中村港湾空港部長をはじめ、地元北海道からもオブザーバーとして参加を頂きました。

北朝鮮の政治情勢はあるものの、中・韓の国際物流戦略が活発化する中、大陸における運輸市場の統合に向けた熱意が伝わるフォーラムとなり、今後の動向が注目されるところです。



海フェスタとやま「あいの港シンポジウム」開催

「海フェスタとやま」のイベントの一環として7月20日「あいの港シンポジウム」が富山県射水市において開催されました。これは、一般市民にみなとへの関心を持ち重要性を広く知っていただくことを目的とし、国土交通省北陸地方整備局、富山県、当協会が共催し、あわせて伏木富山港が特定重要港湾に指定され20年となることを記念して開催されたものです。

シンポジウムでは、『「日本の中の北陸」から「東アジアの中の北陸へ」－日本海物流の意義と港湾連携の重要性を考える－』と題して、港湾が北陸の経済に与える影響について、新木北陸経済連合会会長の基調講演により開始されました。

続くパネルディスカッション「私たちのくらしを支えるみなとに期待すること」では、雨宮前富山大学教育学部教授がコーディネーターとなり、パネリストの分家射水市長、橘高岡市長より「港湾への期待」が述べられ、東海大学の東教授からは、景観に配慮したみなとまちづくりについて、清水港の事例をあげながら当地にふさわしいデザインコンセプトの提案がありました。

富山大学経済学部の李助教授からは、国際物流の専門家として、「環日本海、北東アジアと伏木富山港の役割」について説明していただきました。

また、地元まちづくりの視点から、羽根榎生活ネット研究所代表取締役より、体験を通じた伏木富山港の振興について意見が出され、小泉伏木富山港湾事務所長からは行政の視点から、北陸地域の港湾整備やまちづくりへの支援について具体的な取り組みが紹介されました。

シンポジウムには、一般市民のほか、富山商船高等専門学校の学生、県・市の議員、港湾行政関係者、民間事業関係者など約250人が参加し大盛況のなか、齋田富山県副知事にご挨拶をいただき閉会しました。



「第2回ジャパン・クルーズ・シンポジウム」開催

本年1月16日の「ジャパン・クルーズ・シンポジウム in 横浜」(News Letter 第6号既報)に引き続き、国土交通省、VJC(ビジットジャパンキャンペーン)米国部会クルーズプロジェクトチーム、(株)国際観光振興機構、(株)日本旅行業協会、及び当協会が共催したシンポジウムが6月12日に港区の三田共用会議所で開催されました。

クルーズは、わが国においても団塊の世代の大量退職という状況もあり中高年齢層のレジャーとして今後、大いに期待されています。また、欧米のクルーズ船各社は、寄港先としてアジア諸国に注目していることから、国際交流、地域の活性化、観光振興のため、外国クルーズ船の誘致活動のよい契機となっています。

第1部のパネルディスカッションでは「今後の外航クルーズ振興の在り方について」が議論されました。

橋本旅行振興課長がコーディネーターとなり、森山明(VJC 実施本部事務局長)、横山隆文(大阪市港湾局理事)、木島榮子(株)クルーズバケーション代表取締役、青木哉(郵船クルーズ(株)営業第一部長)、若勢敏美(株)海事プレス社専務取締役)の各氏がパネラーとして意見を表明しました。

第2部は、コスタクルーズ社のマッシモ氏がアジア就航への期待を述べ、VJC 実施本部の那須氏がマイアミでのシートレード・クルーズ・ショッピング・コンベンションへの参加を呼びかけました。また、日本旅行業協会からはクルーズウェブサイトにの投稿の依頼が、国土交通省からはクルーズの動向や、日中韓3国共同のクルーズ振興について説明があり、最後に外航クルーズ振興全国協議会設立に向けた経過説明で本シンポジウムが閉会されました。

年間行事予定

- 9月30日(土)……フォトコンテスト締切
- 10月11日(水)～13日(金)……港湾行政研究会(事務)(於: 船の科学館)
- 10月17日(火)……理事会(於: 東海大校友会館)
- 10月19日(木)……第6回港と文化を語る集い「地中海文明と港」(於: キャピタル東急ホテル)
- 10月25日(水)……港湾整備振興全国大会(於: 砂防会館)
- 10月26日(木)……評議員会(於: 全国都市会館)
- 11月8日(水)……北東アジア港湾シンポジウム、北東アジア港湾協会会長会議(於: 宮崎市)
- 11月14日(火)～16日(木)……港湾行政研究会(技術)(於: 船の科学館)

出版物

ホームページから書籍の購入が可能になりました。港湾関連書籍よりログインして下さい。

1. 「出版目録」の購入数量に必要な数量をご記入下さい。
2. 書籍購入のボタンを押して下さい。
3. 必要事項を記入のうえ確認を押して下さい。
4. 購入申込みを確認いただき送信を押して下さい。
5. お申込みいただいた内容がメールで送信され、受付完了となります。

お申込みに際しまして不明な点がございましたらご連絡下さい。

「地域づくりの主役たち」連載終了

機関誌「港湾」編集担当
機関誌「港湾」に平成17年1月号より連載された『地域づくりの主役たち』が本年3月号をもって終了しました。18回の連載記事には、地域の活性化のため、各港の知恵と工夫が凝縮されています。掲載された以下の活動事例は、今後、港を核とした活動を検討する上でのヒントとなるのではないのでしょうか。詳細はバックナンバーをご覧ください。

(回)	年月(港湾名)	港を場とした地域づくりの活動事例、アイデア
1	17.1(別府湾)	・灯台のライトアップ ・緑地のドッグラン ・スローフードレストラン ・ハンキングバスケット ・緑地管理にボランティア
2	17.2(室蘭港)	・ガーデニングコンテスト、路上でびっくり市 ・倉庫を室蘭ドーム ・チャレンジショップ、スタンプラリー ・シャトルバス、無料レンタサイクル ・常設トイレ、親切な案内板 ・ミニFM局、高校・大学生の活用
3	17.2(神戸港)	・みなとの絵大賞 ・海のクリスマス
4	17.3(塩釜港)	・フラワーアイランド計画 ・まちなみ変遷写真集 ・地域学講座の開設 ・ミニ博物館
5	17.4(伊勢湾)	・海の道の駅 ・離島研究
6	17.5(小松島港)	・みなとギャラリー ・いろは歌留多 ・絵地図
7	17.6(泡瀬海域)	・原風景作り
8	17.7(石垣港)	・星座観測にライトダウン ・港は大空にも開けている ・南十字星の見える広場に日時、方角看板 ・リードタイル、カラー舗装 ・ロードマップ、案内マップ
9	17.8(小名浜港)	・まちづくりステーション ・公共財を地域の素材として活用 ・フードテーマパーク ・料理コンテスト
10	17.8(高知港)	・生物調査、水質調査 ・図鑑、絵巻
11	17.9(八戸港)	・カッターレース
12	17.10(宮古港)	・アクセスディンギー ・ローカルラジオ局
13	17.11(川内港)	・カヌー、シュノーケリング ・海辺の子供自然学校、海辺の達人養成講座 ・自然災害対応に環境、自然などソフト面の充実 ・インターネット活用 ・都会の子供との交流
14	17.11(敦賀港)	・各実行委員会が「年間のお祭り」として一緒に ・大きな祭りの間にある小さな祭りも紹介
15	17.12(八幡浜港)	・スローフードイベント ・まちづくり講座 ・高校、大学生の活用
16	18.1(瀬戸内海)	・さとうみの保全
17	18.2(高松港)	・スタンプラリー ・縁台市 ・LRT研究 ・みなと物語講座
18	18.3(木更津港)	・海のヘルスツーリズム ・タラソテラピー ・ロードマップ、案内マップ ・防潮堤に絵